

植物防疫情報第5号

令和8年9月9日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

トビイロウンカの発生に注意してください！

岡山県病害虫防除所の巡回調査において、9月3日に県中部地域の早生品種を栽培するほ場でトビイロウンカの成虫及び幼虫の発生を確認しました。現在のところ、1ほ場のみで発生が確認され、県内における発生は少ないものの（発生ほ場率1.4%、平年値13.0%）、広島地方気象台発表の9月3日の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多いとされており、本虫の増殖を助長する条件となります。

今後、中生および晩生品種の栽培ほ場で本虫が多発した場合、坪枯れ（写真1）被害が発生する可能性があります。中生および晩生品種を栽培するほ場では、本虫の発生に注意してください。

<防除対策>

- 1 要防除水準（成幼虫合計で株当たり10頭以上又は短翅型雌成虫で株当たり0.2頭以上）を超えるほ場では、直ちに防除を実施する。なお、本虫はほ場内で局所的に生息し株元を好むため、調査に当たっては、ほ場の中央部まで入りながら、なるべく多くの株元をよく観察する。
- 2 農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、表の単剤あるいはその成分を含有する混合剤を安全・適正に使用する。また、散布に当たっては薬剤が株元まで十分到達するよう留意する。
- 3 収穫期に近い場合、薬剤散布は農薬使用基準の収穫前日数をよく確認して行う。



写真1 坪枯れ（令和4年9月13日撮影）



写真2 株元に発生したトビイロウンカ
（令和4年9月13日撮影）

表 水稻におけるトビイロウンカの主な防除薬剤 (令和8年9月現在)

薬剤名	希釈倍数(使用液量)・使用量	使用時期 (収穫前日数)	使用方法	本剤の 使用回数	有効成分の 総使用回数	IRAC コード
キラップフロアブル	1,000～2,000倍(60～200L/10a) 500倍(25L/10a) 8～16倍(0.8L/10a)	14日前まで	散布 空中散布 無人ヘリコプターによる散布	2回以内	2回以内(は種時(直播)又は移植時までの処理は1回以内)	2 B
キラップ粉剤DL	3～4 kg/10a		散布			
キラップ粒剤	3 kg/10a		湛水散布			
トレボンEW ¹⁾	1,000倍(60～150L/10a) 300倍(25L/10a)	14日前まで	散布	3回以内	3回以内	3 A
トレボン乳剤 ¹⁾	1,000～2,000倍(60～150L/10a) 300～600倍(25L/10a)					
なげこみトレボン ¹⁾	水溶性容器10個(500ml)/10a	5葉期以降 収穫21日前まで	本田に水溶性容器のまま 投げ入れる。			
トレボン粉剤DL ¹⁾	3～4 kg/10a	7日前まで	散布			
トレボン粒剤 ¹⁾	2～3 kg/10a	21日前まで				
トレボンスカイMC ¹⁾	16倍(0.8L/10a)	14日前まで	空中散布			
スタークル・アルバリン粉剤DL	3 kg/10a	7日前まで	散布	3回以内	4回以内(育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	4 A
スタークル・アルバリン顆粒水溶剤	3,000倍(60～150L/10a)					
スタークル豆つぶ	250～500g/10a					
スタークル・アルバリン粒剤	3 kg/10a					
スタークル液剤10	8倍(0.8L/10a)		無人航空機による散布			
エクシードフロアブル	2,000倍(60～150L/10a) 500倍(25L/10a) 16倍(0.8L/10a)	7日前まで	散布 無人航空機による散布	3回以内	3回以内	4 C
エクシード粉剤DL	3 kg/10a		散布			
エミリアフロアブル	1,000倍(60～150L/10a) 250倍(25L/10a) 8倍(0.8L/10a)	7日前まで	散布 無人航空機による散	2回以内	3回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	4 F
エミリア粒剤	1 kg/10a		湛水散布			
オーケストラフロアブル ²⁾	1,000倍(60～150L/10a) 200倍(25L/10a) 16倍(1.6L/10a) 8倍(0.8L/10a) 30倍(3L/10a)	7日前まで	散布 無人航空機による散布 無人航空機による散布 空中散布	3回以内	3回以内	UN
オーケストラ粉剤DL ²⁾	3～4 kg/10a		散布			

1) 水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池等周辺での使用は避ける。
2) ウンカ類幼虫での登録である。

農薬を使用する前には、必ず農薬ラベルの記載内容を確認するとともに、各単剤の有効成分を含む農薬の総使用回数を守る。

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、農薬飛散に注意するなど、安全・適正に使用する。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは、<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

